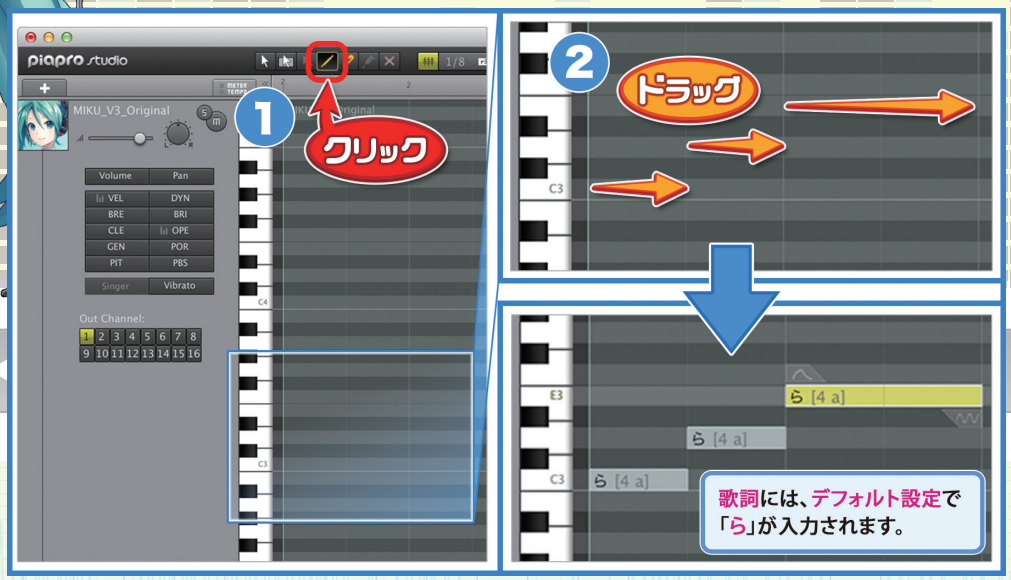
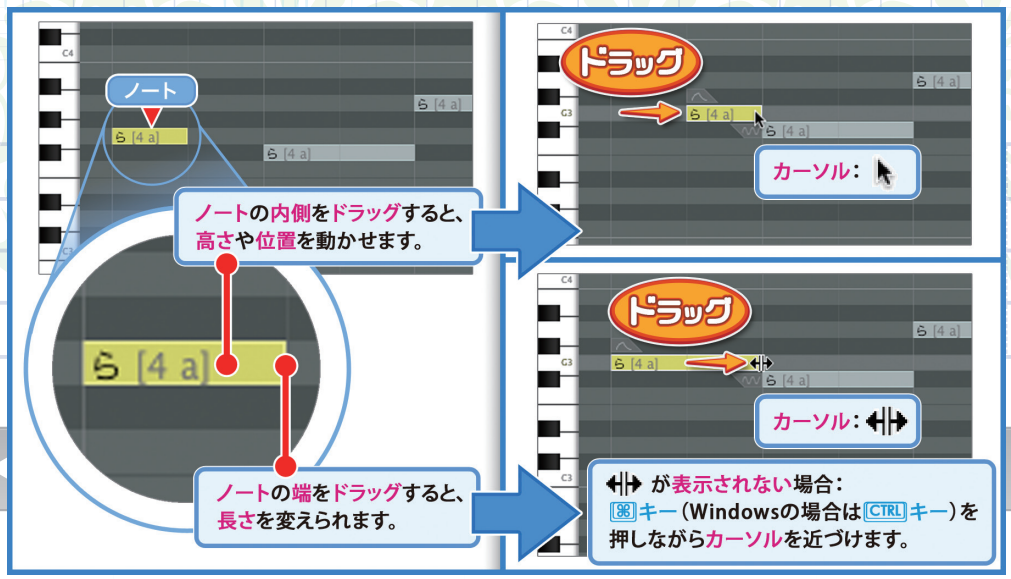
013 音符を入力する



▲［鉛筆ツール］をクリックして、入力したい音の鍵盤の横をドラッグします。音の長さは、右の方へドラッグする長さで調節します。



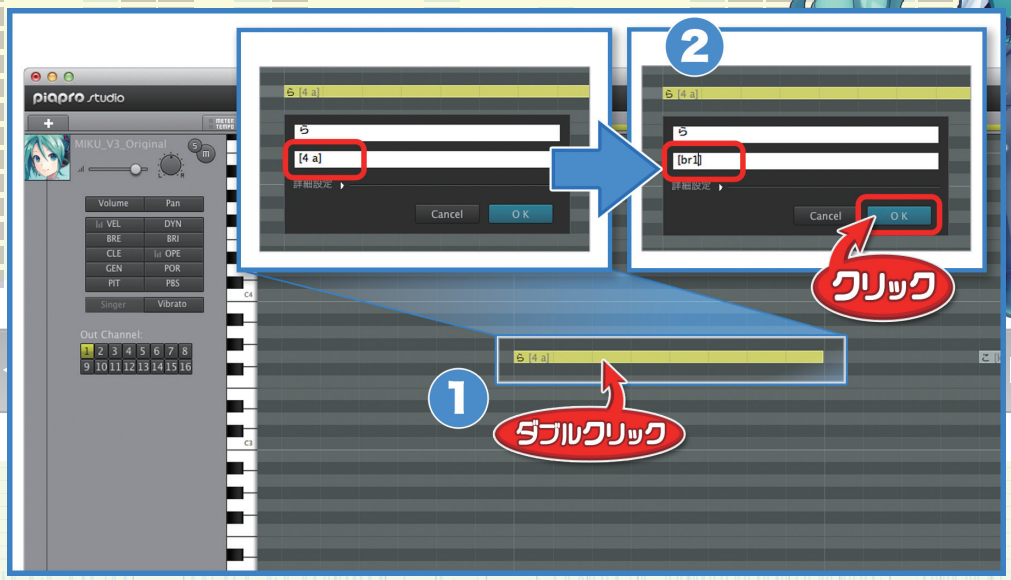
▲入力された音の高さ・長さ・歌詞などを表す帯のようなパーツを、ノートといいます。

ノートを↖状態でドラッグすると、音の高さや位置を変えられます。

ノートを⇹状態でドラッグすると、音の長さを変えられます。

> リージョンが足りなくなった時も、リージョンの端を⇹でドラッグすると、長さを変えられます。

o22 ブレスを入れる



▲メロディと歌詞が入力できたら、より人間らしく歌わせるために、まずブレス（息継ぎ）を入れてみましょう。

新しいノートを作り、歌詞入力欄の下段に半角で「[br1]」と入力します。

▲スナップをオフにし、ブレスの長さをドラッグで調節します。

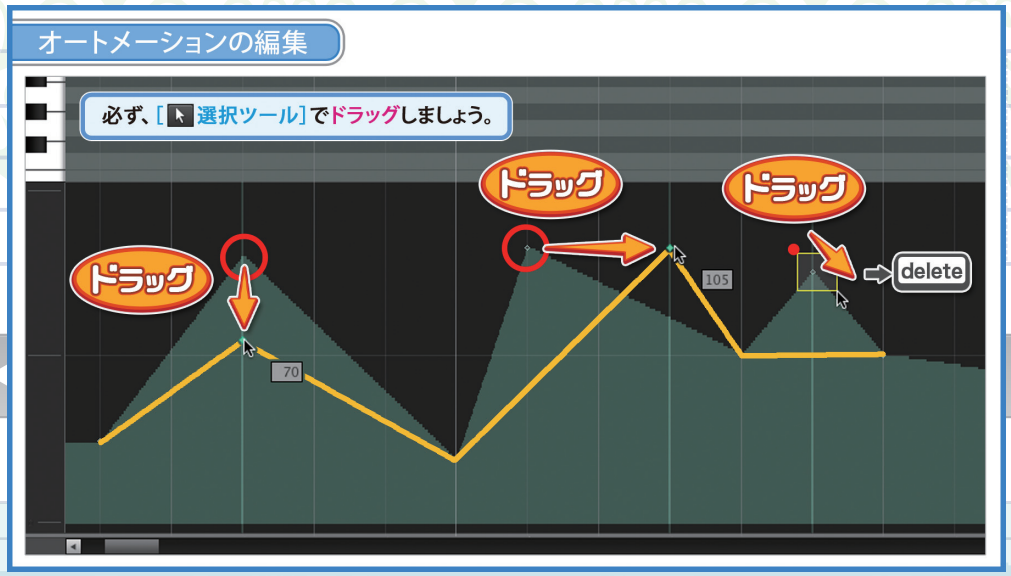
ブレスは「br1・br2・br3・br4・br5」の５種類があり、長いブレス（４分音符程度）と短いブレス（８分音符以下）で息のニュアンスが異なります。

スナップのオン／オフ：Q

o28 オートメーションを自在に使う

▲**オートメーション**の入力・編集は、［鉛筆ツール］と［選択ツール］を使います。

オートメーショントラックの上端を**ドラッグ**して、入力エリアを**広く**すると、**細かい作業**がしやすくなります。



▲［選択ツール］を使うと、既に入力した数値を**変更**できます。

ポイント（座標）を消すには、**ドラッグ**で囲んだ後 delete **キー**を押します。

［鉛筆ツール］：V または P　　［選択ツール］：1

▲スナップをオフにすると、なめらかに数値を変化させることができます。

［鉛筆ツール］を使ってドラッグして、曲線を描くようにオートメーションを入力することができます。

> オートメーションの役割を把握するまでは、グラフに上の図の⚠マーク部分のような急激な角を作らないようにするのが、自然に歌わせるコツです。

▲Ⓐボタンをオフにすると、グラフ状に入力した数値を一時的に無視して歌わせることができます。

オートメーションが狙いどおりに作用しているかを、確かめられます。